

# 身近な水環境の全国一斉調査ハンディマニュアル

## 「COD(D)※は1つの試水を3回測定」について

※ このマニュアルでは、共立パックテストの化学的酸素消費量(低濃度)をCOD(D)と表現することとします。

※ パックテストは株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

測定値にはバラツキがあります。どれくらいのバラツキがあるかを把握するために、また、測定ミスの発見(測定誤差を最小限にする)のために、今回は「COD(D)は1つの試水を3回測定」にご協力をお願いします。

このCOD(D)の3回測定には送付のパックテストCOD(D)と標準色を使って下さい。ロット番号が全国同一になっています。

また、試水を一定量吸い上げるために、パッキンを使用します。

同封の空パックは、パッキンで試水を吸い上げる練習に使って下さい。

- ① 調査票には**3回の測定値をそれぞれ記入**して下さい。
- ② 測定値のバラツキが大きいと感じた場合など、状況に応じてさらに測定を繰り返し、その内の近い値、3つを調査票に記入して下さい。
- ③ 測定値は**標準色の中間値を読むことも可**とします(無理に中間値を読み取る必要はありません)。つまり、**得られる測定値は0,1,2,3,4,5,6,7,8以上の9種類**です。  
ただし、希釈や他のパックテストCODによる測定および公定法等で実施している場合は、その値も参考値として調査票の特記事項にご記入下さい。
- ④ 結果が「8以上」の場合、オプション(任意な取り組み)として、測定範囲が0-100mgO/LのパックテストCODや希釈による測定方法が身近な水環境の全国一斉調査ホームページ(<http://www.japan-mizumap.org>)に紹介されています。調査票にもオプション欄が設けてあります。また、上記以外の公定法等で測定している場合は、調査票の特記事項の欄に結果を記入して下さい。

### 河川以外の水路・ため池等で調査を行う際の注意

これらの多くは、農業のための専用施設です。事故防止、施設保護及び風評被害発生防止のため、調査実施・データの公表が前提であることについて、事前に所有者・管理者に説明し了解を得るとともに、指示事項がある場合には遵守し、事故等が発生しないよう十分留意してください。

## 採水編

### 【調査河川等の決定と調査票への記入】



- ◆ これまでに調査を継続してきた定点
- ◆ 新たに調査してみたい地点



雨天・増水などによる調査の中止も含め、各団体や調査者の判断で決定してください。

### 【調査地点名と記号の決定および記入】



### 【採水】



- ◆ 採水の時間帯は午前中。



- ◆ 安全に十分配慮して採水します(安全管理は自己責任)。



- ◆ 採水器具や試水を入れる容器は、現場の水で十分にともあら共洗いをします。(3回を目安に、現場の水ですすいでください)。



- ◆ 舞い上げられたゴミ等が試水に混入しないように注意して採水しましょう。



- ◆ 試水を運ぶ場合は、ミネラルウォーターなどのきれいなペットボトル等に入れて運びましょう。